

平成29年度宮城県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会 会議録

- 1 日時：平成30年1月31日（水）午後5時から午後6時まで
- 2 場所：行政庁舎7階 保健福祉部会議室
- 3 出席委員（五十音順，敬称略）：小池智幸，渋谷大助，下瀬川徹，舟山裕士
- 4 会議録

（司会）

本日は，お忙しい中御出席いただきまして，大変ありがとうございます。

ただ今から，平成29年度宮城県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会を開催いたします。

開会にあたりまして，宮城県保健福祉部健康推進課課長の岡本よりご挨拶いたします。

（岡本課長）

本日は，ご多忙のなか，宮城県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会にご出席いただきありがとうございます。

委員の皆様には，本県のがん対策行政の推進に日頃から御協力いただいておりますことに，厚くお礼申し上げます。

本日は，平成29年度胃がん検診精度管理等調査結果について報告させていただいた後に，市町村への指導事項案について，御意見をいただく予定としております。限られた時間ではありますが，委員の皆様には，忌憚のない御意見を賜りますようお願いいたします。

（司会）

本日は，お手元に配布させていただいております会議次第に従いまして進めさせていただきます。始めに，本日の資料の確認をさせていただきます。

（資料確認）

（司会）

それでは，ここからの議事の進行につきましては，下瀬川部会長にお願いいたします。

（下瀬川部会長）

それではよろしくお願ひいたします。次第に従いまして，報告事項「平成29年度胃がん検診精度管理等調査結果」について，事務局から説明をお願いします。

（資料1，2，3，4について事務局説明）

(下瀬川部会長)

ありがとうございます。非常に詳しいデータをお示しいただきました。

全般的に去年に比べると改善しております。アンケートの内容が詳しくなり、精密検査受診率は全国トップなど、どのデータを見ても全国よりもはるかに上回っており、きわめて精度の高い精密検査を実施している事を示しております。

一点気になるのは、昨年指摘された50代の男性の精密検査受診率が低いことであり、忙しい年代で精密検査を受けられない方が目立つのかなと思います。

(舟山委員)

非常に努力されていることがよくわかりました。昨年に比べて未把握率がだいぶ減っておりますが、その要因について教えていただきたいです。

(岡本課長)

毎年、協議会で審議いただいた内容について、市町村へ指導事項を通知し、5月又は6月に市町村を集めて精度管理調査結果について説明をしております。検診機関とかなり連携し、未受診者に対して、きめ細やかアプローチをしている成果と思っており、市町村で努力をしていただいていることがこのような成果につながっていると思っております。

(下瀬川部会長)

数年前には未把握率がかなり高く、部会でも問題視していた経緯がありますが、市町村がそれを受け止め、対応してくれたものと思います。平成26年度に比べて半減しており、非常に良いと思います。

(小池委員)

努力の成果が見えて素晴らしいと思います。

「受診可能な精密検査機関名の一覧を提示しましたか。」という項目について、これは市町村が医療機関のリストを提示していないということでしょうか。医療機関は県として推奨機関を市町村に示すシステムにはなっていないのでしょうか。

(事務局)

それぞれの市町村が一覧を提示しており、県が推奨機関を示すしくみにはなっておりません。

市町村に状況を確認したところ、集団で精密検査を受ける体制にしている市町村が多く、市町村が提示した日時に受診できなかった場合にはかかりつけ医を受診する場合があります、そういった場合には未充足となるというのが国の見解です。

(小池委員)

推奨機関を提示し、そこに相談すれば充足できるのではないかと感じました。推奨機関についてご検討いただければと思います。

胃がん検診の実施状況で、受診率が、16.22%から11.41%に減少しておりますが、職域で検診を受ける人を除外したのが要因でしょうか。

(事務局)

報告では、対象者数には職域で検診を受ける人を含めて全人口を報告するようになっておりますが、いまだに職域で検診を受ける人を除外して計上している市町村があります。

(小池委員)

データが安定しないので、基礎となるデータとして、職域で検診を受けた方を含めたデータと除外したデータの両方を把握するのが理想だとは思いますが。

(下瀬川部会長)

受診率は、今後10%台で推移するのでしょうか。

(事務局)

そのとおりだと思います。

(小池委員)

胃がん検診は、職域検診など様々な受診方法があるので、全ての検診を含めたデータの方が意味があるのではないかと個人的に思います。

(渋谷委員)

これまで市町村検診は国保対象としてきた経緯から、対象者から職域で検診を受ける人を除外し集計してきましたが、それらの人も住民なので市町村検診を受けることができます。分母の取り方が各市町村で異なり、国としては、対象者数は全住民として受診率を計上しております。

実際には市町村検診を受けていない人も職域でがん検診を受けている人がおり、60歳まで職域で検診を受けていた人が、65歳まで職域で検診受診するようになり、市町村検診の受診者が減少しております。胃がん検診としては、実際には倍以上の受診率になります。人間ドックを受ける人もあり、全てのデータの収集は難しく、県民健康栄養調査や国のアンケート調査で把握しており、職域も全て含めると受診率は5割近くになります。

(事務局)

17ページに国民生活基礎調査におけるがん検診受診率を掲載しております。40～69歳の胃がん検診受診率は52.3%、全国順位3位となっております。

(小池委員)

県で把握していれば良いと思います。

(渋谷委員)

国の目標は検診受診率が50%ですが、宮城県の場合、すでに50%を超えており、県推進計画の目標値は70%としております。

全住民を対象とすると受診率が減少しますが、対象者を適正に報告いただくように指導していただきたいと思っております。

(小池委員)

精密検査の推奨医療機関を示すことについてはいかがでしょうか。

(事務局)

肺がん部会で追加調査をしましたが、精密検査は集団検診と同じ機関で実施しており、それ以外の選択が難しく、医師会と連携して提示している地域もありますが、専門医がないなど、郡市医師会の範囲では決められないという意見もありました。

(小池委員)

そういう状況であれば、県として県医師会と相談し、推奨医療機関の提示をした方が良いのではないかと思います。

(岡本課長)

単独市町村では調整が難しいという意見があり、他のがん検診の精密検査でも同様のことが言えると思っておりますので、今後どういう対策がとれるかについて、検討していきたいと思っております。

宮城県では、5年に1回、3,000人弱を対象に県民健康栄養調査を実施しております。胃がん検診を受診している人は61.4%と高い結果となっております。

(小池委員)

回答率はどのようになっておりますか。

(岡本課長)

回答率80%以上の回収率となっております。

(渋谷委員)

調査対象者は3,000人であれば調査として大丈夫と言われております。

(岡本課長)

宮城県はアンケートの協力率が高いです。

(下瀬川部会長)

分母に職域で受診する人を含めれば受診率は減少するが、その意図は何でしょうか。

将来的には住民検診と職域検診の比率を見えるようにしたいということでしょうか。

(事務局)

現状では市町村間で比較が困難であり、今後の方向性としては、国保加入者の受診状況を把握し、国保加入者の受診率で比較できるようになると情報を得ております。

(下瀬川部会長)

分母を統一して比較できる体制にしたいということですね。御意見がいくつか出ましたが、少しでも良くするために、改善できるところは改善していただきたいと思います。だいぶ良くなってきているという実感があります。それでは、他に御意見がないようでしたら、協議事項に入りたいと思います。市町村への指導事項(案)について事務局から説明をお願いします。

(資料5について事務局説明)

(下瀬川部会長)

ありがとうございます。市町村の指導事項についていかがでしょうか。

(小池委員)

分母の取り扱いや精密検査医療機関の一覧の提示について、個別に市町村に指導する機会はあるのでしょうか。

(事務局)

各市町村に個別に未充足の項目を示し、5月末から6月に市町村の説明会を開催しておりますので、その際にご説明しております。

(下瀬川部会長)

よろしいでしょうか。

本日いただいた御意見や他の部会における意見を基に、3月下旬に「宮城県生活習慣病検診管理指導協議会」が開催されますので、指導事項を定めることとなりますので御了承願います。その他で何かございますか。

(渋谷委員)

仙台市で平成31年4月から内視鏡検診を導入するための準備をしております。

(下瀬川部会長)

他の圏域でも検討しており、医師会・県・検診実施機関で、仙台市の内視鏡検診の進捗状況を見ながら検討しているところです。嘉数医師会長にも了解を得て、まずは大崎地区と柴田郡でモデルをできないか、意見を聞いている段階です。内視鏡検診に

については、全国の動向等について、検診についての大枠を市町村へ情報提供をしていただきたいと思います。

その他で何かございますか。無いようでしたら、事務局に司会をお返しいたします。

(司会)

委員の皆様、御審議大変ありがとうございました。

それでは、本日の会議は以上を持ちまして終了させていただきます。大変ありがとうございました。